

女性の「婚活」意欲の高まりに伴い、注目される結婚相談ビジネス。これまでは万単位の会員から希望の相手を検索するなどの大手のサービスが知られていたが、最近見直されているのが、

昔ながらの仲人スタイル。出会いの場を設けるだけでなく、踏み切れない男女の背中を押すといった「機微」が悩める利用者の心をとらえているようだ。  
(文化生活部・坂口絢美)

# カリスマ仲人に学べ

## 「世話好きおばちゃん」復権

三月下旬、神戸市中央区 四年前の国勢調査による 自助努力」と話す。

であった「結婚アドバイザー養成講座」。

「カリスマ仲人のうち58%、女性のうち44%が未婚で、十五年前に

比べそれぞれ10%、17%上昇している。十八〜三十四

歳の未婚男女を中心にした出生動向基本調査では、約

90%に結婚願望があったが、結婚しない理由(複数回答

を尋ねると、二十五〜三十四歳の約半数が「適当な相手がいない」と答えた。

パブル崩壊後、企業の年齢構成が変わり、職場は未婚男女の出会いの場になり

にくくなったという。近所付き合ひも希薄になった。

現在、塾の会員は三百人に上り、約千人が入会を待つという。カリスマと呼ば

れるゆえんだ。

世話好きも減った。これからの結婚相手探しはまさに

「二十五歳、売れ残り」

「カリスマスケキ」は昔

お見合いの形は、以前とかなり違う。お見合い当日は

付き添わない。同時並行で

一方、仲人の位置付けやお見合いの形は、以前とかなり違う。お見合い当日は

付き添わない。同時並行で



結婚アドバイザー養成講座を受ける人たち＝神戸市中央区、神戸国際会館

ニュース  
ニュース  
兵庫

## 「婚活」時代、講座が盛況

ほかとお見合いしても問題なく、義理がなく断りやすい。

こうした婚活の活況を受け、仲人を目指す人も増えている。

結婚アドバイザーの養成講座を全国各地で開くNPO法人「全国結婚相談業教育センター」(大阪市)によると、同法人に加盟する

仲人は現在約三百人だが、この半年で二倍に増えた。

一月からは仲人の資格「仲人土」の認定も開始。

入会金が三万円以内▽成功報酬制▽親切・丁寧な対応などが条件だ。

同センターの中西圭司理事長は「私たちの仕事は信用第一。仲人土の資格が、

消費者にとって安心して利用できるかどうかの判断目安になるだけでなく、優良業者が増え、業界全体の信用度を上げること役立つ」と話す。